

「生徒指導対策（不登校・問題行動）に教務主任としてどのように対応するか」

生徒指導は生徒指導部の仕事である、という考え方は現場からなくなっていると確信している。ただ、「私の担当部署としてあまり関わることはない」と考えることはあるだろう。

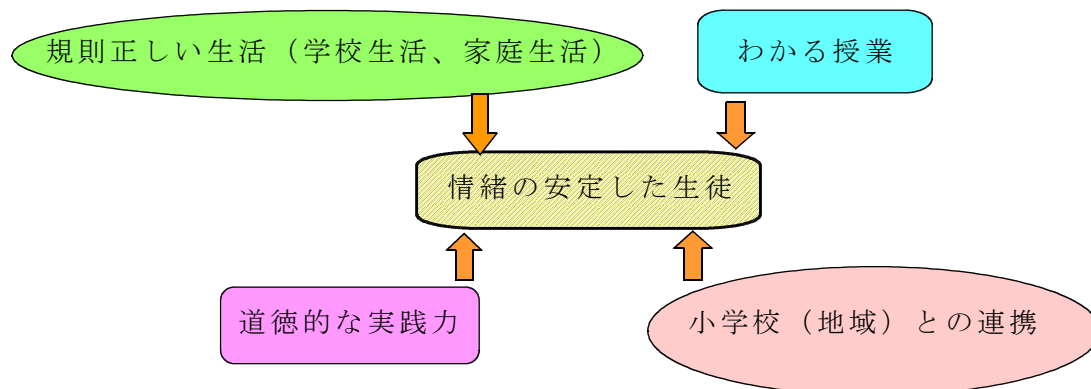
かつて、教務主任として勤務していた学校で、「生徒指導体制の基盤を作ることが教務部の担当である」、という考えで取り組んだ事例を示す。

ただし、今から7～8年前の取り組みなので、現在多くの学校で取り組んでいることばかりである。あくまでも参考にして頂きたい。

1 生徒、不登校の分析 （一部生徒、特徴的なもの）

- ・ 中学校生活への不適応…入学と同時に問題を起こす
- ・ 不規則な生活習慣…朝食をとらない、夜遅くまで起きている
- ・ 不安定な家庭（家族構成、経済的な問題）

2 課題解決に向けてのモデルづくり



3 教務として現在行っている手だて

（1）わかる授業

- ・ 文科省の学力向上施策を受けての学校研究
「各教科の押さえどころを押さえる授業」
（下層部の底上げ）

- ・ 目標提示と学び方の学習

学校通信による学習内容や学び方等の紹介
授業の目標提示

- ・ 評価を活かした授業

「わかる」ように、「できる」ようにする。（指導計画に評価規準を表記してある）

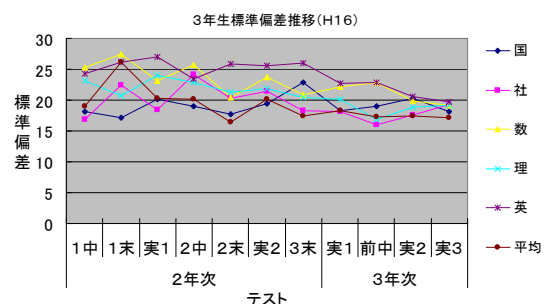
- ・ 総合的な学習の時間

目標の明確化と年間指導計画による全職員による指導

1年（4・5月）…学校のルールについての理解、学級目標づくり（発表会）

（2）落ち着いた学校生活

- ・ 規則正しい生活をつくるためのシンプルな時間割（欠時や曜日変更を少なくする）
- ・ 時程表による授業時数の確保（各学級・各教科ごと）
- ・ 部活動、学習、行事に集中する期間を設定



(3) 小学校との連携（小学校から中学校へのソフトランディング）

- ・小中連絡会（教務、生指、英語、養教）

教務…評価、学習方法、日程、相互参観などの検討

- ・小学校訪問

2月…教務が主催し、生徒会が企画する中学校紹介

（プレゼンテーション・演奏会・ダンスなど、リーダー会・部活動も参加、

「◎○中ガイド」配布）

(4) その他

- ・道徳的な実践力育成…授業時数の確保と計画的な指導、奉仕活動の強化
- ・なやみ相談…年2回のふれあい週間（担任との面談）
- ・相談室登校生や不登校生への手だて…担任と教育相談の連携（指導方針、家庭訪問）
学習の援助（実験や実習の保証）
- ・記録の集中化…校務分掌ファイルの作成と一括保存
人事異動で担当者が変わっても取り組みが継続できるようにする。
- ・広報…生徒の様子や学校の取り組みを伝える（学校通信やホームページ）
ホームページは、情報が集中する教務主任がプロデュース

4 今年度の主な取り組み

(1) 心の教育、健康教育

- ・道徳的な実践力の育成：地域へ出での奉仕活動
- ・心の健康と性教育…教務として、教育活動の中で関係している教科、単元、題材の整理（日常の教育活動の中で教師と生徒が問題意識を持つ）

(2) 生徒活動の再構成

- ・生徒総会の復活、スローガンづくり、生徒が生徒の前で訴える（全校朝礼）
- ・生徒や学校の現状を理解しての活動提起（教務も関わる）

(3) 保護面談の再構成

- ・早い時期の地域訪問（復活）、長期休暇前の保護者面談（冬は復活）
- ・夏期休暇前…生活面や目標設定主体の到達度表渡し
冬期休暇前…学力面の到達度渡し

5 教務主任として

- ・校長（教頭）の構想を理解し、学校教育目標具現化へ向けて、担当者やPTA（地域）との積極的な関わり（指導、助言）を持つ。
- ・行事予定に載らない小さなミーティングの実施
- ・新しい取り組みを設定することも大切だが、過去の財産の良さを活かし、再構成することも大切である。